

アンドレアス・ヴィルヴォールによる

レクチャーコンサート

「ドミトリー・ショスタコーヴィチの作品と人生」

2025年4月6日 日 19:00 開演 / 18:30 開場

西南コミュニティセンターホール

福岡市早良区西新6丁目2-92 地下鉄空港線西新駅3番出口より徒歩5分

・出演・

アンドレアス・ヴィルヴォール (お話しとヴィオラ)
草冬香 (ピアノ)
ブライアン・ルー (通訳)

・演奏曲目・

ショスタコーヴィチ
ヴィオラとピアノによる 24 の前奏曲 作品34より7つ
第10番 第14番 第15番 第16番 第17番 第18番 第24番

ショスタコーヴィチ
ヴィオラとピアノのためのソナタ 作品147

モテラート アレグレット アダージョ ※ショスタコーヴィチ最後の作品

・チケット料金・ ¥3,000

Webからのお申し込みはこちら



アンドレアス・ヴィルヴォール

アンドレアス・ヴィルヴォールはドイツのエアフルト生まれ。14歳でワイマールのベルヴェデーレ宮殿音楽学校へ入り、国立ワイマールフランツリスト音楽大学へ進学。その後ベルリンの国立ハンス・アイスラー音楽大学へ編入し、アルフレッド・リプカ、そしてヴィルフリード・シュトレーレ両氏に師事した。

また、クリストフ・ボッペン、トーマス・カクシュカ、キム・カシユカシアン、ノルベルト・ブラウニ、エバハド・フェルトツ、またはアルバンベルク四重奏団などからも指導を受けた。

ヴィオラのヴィルトゥオーゾ、そして室内楽奏者として世界的な活動を続ける彼は、ギイ・ブラウンシュタイン、トーマス・ブランディス、ヴォルフガング・ベツァー、今井信子、ミハエル・ザンデルリングなどの音楽家と共にザルツブルグ音楽祭、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭などの数々の音楽祭に参加している。またソリストとして、指揮者マレク・ヤノフスキーが率いたベルリン放送交響楽団やドイツ室内管弦楽団などをはじめとするオーケストラとの共演も多数である。

2001年より2013年までベルリン放送交響楽団の首席ヴィオラ奏者を務めた。

その間、2011年よりニュルンベルク音楽大学の教授に就任し、現在はフランクフルト音楽・舞台芸術大学とその職を兼任している。

ザルツブルグ・セツァルネウム音楽院の夏のセミナーを始め、ヨーロッパやアジアなどで後進の指導にも力を入れている。演奏家としてのキャリアもますます充実しており、2015年よりマンデルリング四重奏団のメンバーに就任、以来CD録音やワールドツアーなどに参加している。

彼の録音はこれまでに多数あるが、2019年に待望のソロアルバムをリリース。

草冬香

東京藝術大学、同大学院修士課程修了。ドイツ国立フライブルク音楽大学を最優秀の成績で卒業、国家演奏家資格を取得。第4回ローゼンストック国際ピアノコンクール第1位、第2回アルトゥール・レプティエール国際ピアノコンクール第1位等受賞多数。ソリストとしてニッポンシンフォニー、東京交響楽団等と共演。室内楽においても意欲的に活動し、今井信子、アントワン・タメスティ等著名な演奏家の信頼を得て共演を重ねる。杉本安子、小林仁、伊藤恵、ギルアド・ミシヨリの各氏に師事。東京藝術大学ピアノ科非常勤講師を経て、現在足立学園音楽大学非常勤講師。

